

## 第7回熱帯養蜂会議と第5回アジア養蜂研究協会大会

### セカンドアナウンスメント

2000年3月19～25日に国際ミツバチ研究協会（IBRA）の第7回熱帯養蜂会議と第5回アジア養蜂研究協会大会が、タイ北部チェンマイのLotus Hotelで併催される（Kad Suan Kaew Shopping Plaza 隣り。99/44 Huay Kaew Road, Chiang Mai 50200, Thailand. Tel: 662-053-224-333 Fax: 053-224-493）。

IBRAは1949年設立の世界のミツバチ関係者が集う非営利団体である。本部を英国カーディフにおき、ミツバチが農業と自然環境に不可欠な存在であることを啓蒙するために、会員誌「Bee World」の刊行と、その他学術雑誌の発行、各種書籍の出版販売を行っている。

IBRA 熱帯養蜂国際会議は、1976年以来4年ごとに開催されてきた。熱帯のミツバチと養蜂に関する著名な、先駆者の催しであり、これまでの会議には多様な研究者、養蜂企業家、趣味養蜂家、開発事業関係者、各国政府、国際機関関係者、農業、林業従事者、改良普及事業関係者が出席している。会議論文集は熱帯のミツバチと養蜂に関心を持つ人々に大きな価値のある資料となっている。

20年ぶりにアジアで開かれる今回の大会テーマは「管理法と多様性」。基調講演、多彩なセッションでの口頭、ポスター発表の他に、ワークショップ、関連施設見学とミツバチ生産物の展示会「Bee World Expo 2000」、歓迎パーティー、お別れ晩餐会などが予定されている。AAAは前回ネパールの大会に引き続き、養蜂関連のワークショップをおこなう。

### 大会目的

◎ハチ類が熱帯環境ではたす役割の重要性を認識する。

◎21世紀におけるミツバチ科学研究と実際の蜂群管理法との新しい協力関係樹立を促す。

◎最新の発見や、アイデアを持ち寄り、検討する場を提供する。

◎熱帯の農林業環境におけるハチ類の持続可能な方法での利用を奨励する。

大会ではIBRA名誉会長 E. Crane 博士の基調講演、松香光夫 AAA 会長、H. Shimanuki IBRA 会長、T. E. Rinderer, J. Woyke, N. Koeniger, N. Bradbear など、著名なミツバチ研究者による講演が予定されている。

### 大会参加登録

	1999年11月末日まで	12月1日以降
登録者	£160/US\$275	£204/US\$350
同伴者	£120/US\$200	£140/US\$240
学生	US\$100	US\$125

申し込み先はアジア地域とその他地域で異なり、アジアの人は Local organizing committee に、その他は IBRA にそれぞれ申込書と代金を送付する。日本からの参加希望者は詳細の載った英文セカンドアナウンスメントをミツバチ科学研究施設内アジア養蜂研究協会にご請求下さい。参加申し込みも受付ます。

### 開催セッション

- ミツバチ生物学  
(オーガナイザー: 佐々木正己, C. YS Peng, B.Y. Kuang)
- ミツバチの多様性  
(S. Tingek, 吉田忠晴, N. Koeniger)
- 熱帯のミツバチ管理法と養蜂  
(D. de Jong, R. M. Crewe, Y. Waikakul)
- ミツバチの病気と害敵  
(H. Shimanuki, L. de Guzman, C. Lekprayoan)
- ミツバチと農作物生産  
(P. Kevan, R.C. Sihag, S. Buranapawang)
- 生態系保持におけるミツバチの役割  
(M. Mardan, D. Wittman, T. Budhargsa)
- ミツバチ遺伝学の進歩  
(L. S. Goncalves, B. Oldroyd, S. Sithipra-  
neet)

8. 植物保護の進歩とミツバチに及ぼす影響  
(C.Y. Shen, M. Mulla, D. Aemprapa)
9. ミツバチ生産物：生産，加工処理とマーケティング  
(S. K. Raina, C. van Eaton, R. Sanguan-deekul)
10. 国際援助と養蜂開発  
(M. Burgett, N. Bradbear, Tam Dinh Quyet)

論文発表希望者は1999年11月30日までに所定の申込用紙と要旨をIBRAに送付する。著者は口頭，ポスターの発表形式を希望できるが，テーマとの関連性，内容などを勘案し最終決定はIBRAが行う。ポスター発表者と参加者の討論時間も設定され，アブストラクト集，論文集への掲載は口頭，ポスター発表とも同等に考慮される。

#### テクニカルビジット

大会期間中の3月22日(水)はチェンマイ内外の施設を見学する，多彩な見学旅行が計画されている。

1. チェンマイ動物園，養蜂普及センター，ミツバチ博物館
2. ミツバチ・バタフライファーム，エレファントサファリ
3. 王室植物園，ミツバチ・バタフライファーム
4. オオミツバチエコツアー(チェンダオ洞窟)  
(定員40名限定)
5. ローヤルゼリー・ハチミツ工場，ミツバチ市場，ラジャマンガラ技術研究所(ハチミツ酒，ロンガン果樹園でのミツバチ利用試験)(定員40名限定)

#### ワークショップ

養蜂家や普及事業関係者が，自分たちの発見や抱える問題を持ち寄り，情報を交換し，解決策を探るAAAワークショップは，前回大会で初めて実施され，大変好評であった。今回は以下の4つのテーマについて大会に先立つ3月18～19日にチェンマイ市内のNakornping Palace Hotel (471-9 Soi Jiakeaw Chiang

Mai - Lumpon Road, Chiang Mai 50000, Tel: 66-035-281822-7, Fax: 66-053-801067)で開催される。

トウヨウミツバチの養蜂技術はセイヨウミツバチとくらべ未熟であり，有効な対策も個人あるいは地域レベルから広がりにくい。貴重な経験や知識を集積し，トウヨウミツバチ養蜂とそれによる村落開発を促進するのがワークショップのめざすところである。

#### A: 持続可能な養蜂の普及事業

—問題を抽出し，意見交換から解決策を探る—  
(オーガナイザー： R.W.K. Punchihewa, U. Jirasavethakul, K.K. Shrestha, S. Boongerd)

#### B: タイサックブルード病

—科学的背景分析と予防法，対策技術—  
(Y. Waikakul, K.S. Woo, C.C. Reddy, S. Aemprapa)

#### C: バロアダニ

—実状分析と対策—  
(W. Ritter, P. Akrathanakul, O. Boecking, C. Kittiprasert)

D: 現在進行中の研究と21世紀に求められるミツバチ科学研究  
(H.R. Hepburn, 天野和宏, W. Leelamanit, S. Deowanish)

#### ワークショップ参加費用

	2000年1月7日まで	1月7日以降
一般	US\$50	US\$90
AAA会員	無料	無料

アジア養蜂研究協会会員は参加無料の特典が与えられた。多くの日本の会員にご参加いただきたい。

#### ビーワールドエキスポ 2000

ミツバチ生産物関連の展示会は，予想約2千名の大会参加者に自社製品を紹介する絶好の機会となる。今回の会議はIBRAとの共同開催であり，通常のアジア養蜂研究協会大会よりも，アフリカ，中南米など広い範囲からの参加が見込まれる。日本からも多くの関係企業の出展を期待している。

出展料 (米ドル): シングルブース (3m×3m) 出展料には一人分の参加登録料が含まれる。このパスですべてのセッション, シンポジウム, その他の行事への参加が認められる。

シングル	ダブル	トリプル
1999年9月末日まで		
\$ 500	\$ 750	\$1,000
2000年1月末日まで		
\$ 750	\$1,000	\$1,250
2月以降		
\$1,000	\$1,250	\$1,500

ビーワールドエキスポ 2000 出店に関する問い合わせ先: 〒150-0011 東京都渋谷区東 1-31-12 Property West Bldg. 1501 小田忠信, Tel: 03-3498-8375; Fax 03-3475-8362

### 宿泊

チェンマイには数多くのホテルがあり, 大会組織委員会は参加者のニーズに応じられる多様な部屋を準備している。

大会会場のロータスホテル

部屋のタイプ	価格 US \$ (朝食込み)
シングル	50
ダブル	60
トリプル	65

ワークショップ会場のナコンピンパレスホテル

部屋のタイプ	価格 US \$ (朝食込み)
ダブル	20

詳細は英文セカンドサーキュラー, または大会ホームページ (アドレスは末尾参照) でご確認下さい。

### 大会前後の観光旅行プラン

“北部のバラ”とも呼ばれるチェンマイはタイを訪れる多くの観光客を引きつける魅力を持っている。市街地はピン河の両岸に緩やかに広がり, 緑豊かな丘陵に囲まれる。湿度の高いバンコクなど南部に比べ, 涼しく, 乾燥したチェンマイの気候は大きな安らぎを与えてくれる。

タイに生息する多様なミツバチや養蜂の様子を知るにも最適の場所である。独自の文化を持つ北部タイ各地への観光拠点でもある。

チェンマイ周辺やタイ各地の息をのむような美しい景観と, 多様な養蜂形態を大会参加者にご覧いただくため, 期間前, 中, 後に多彩なパッケージ旅行が企画されている。

#### ① (Pre-TN01)

バンコクーピサヌロークコースコーターチェンマイ

(3泊4日, 2000年3月15~18日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US \$440, 一人部屋追加料金 US\$120) バンコク観光: 王宮, ワットプラケオ (エメラルド仏), チャイナタウン, ローズガーデン (トウヨウミツバチ養蜂を見学), ダムヌンサドアック水上マーケット, ナコンパトム (タイ最古の仏像, 大仏塔) など。3日目ピサヌローク: ナレスワン大学のミツバチ研究見学, プラシーラタナマハタツ寺 (タイでもっとも美しいといわれる仏像), 世界歴史公園。4日目チェンマイ: ランパン県のエレファント・キャンプ。

#### ② (Pre-TN02)

バンコクーサムイ島ーチェンマイ

(4泊5日, 2000年3月14~18日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US \$ 900, 一人部屋追加料金 US\$ 200) バンコク観光: 王宮, ワットプラケオ (エメラルド仏), チャイナタウン, 水上マーケット, タイビレッジ・カルチャーショー。3日目にサムイ島へ: バタフライガーデンで, トウヨウミツバチ養蜂見学。4日目アントン海洋国立公園。5日目にバンコク経由チェンマイへ

#### ③ (Pre-TN03)

バンコクーチェンライーチェンマイ

(3泊4日, 2000年3月15~18日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US \$ 615, 一人部屋追加料金 US\$ 120) バンコク観光: 王宮, ワットプラケオ (エメラルド仏), チャイナタウン, バラ園 (トウヨウミツバチ養蜂を見学), 水上マーケット, ナコンパトム (タイ最古の仏像) など。3日目チェンマイ経由

チェンライ周辺、北部国境地帯へ、プラタットドイトゥン、黄金の三角地帯、メーサイ、コック川で川下り、シャン族の部落へ、カレン族の村も訪問。4日目にチェンマイに戻る。

④ (Pre-TN04)

バンコクーチェンマイ

(3泊4日, 2000年3月15~18日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋 US\$500, 一人部屋追加料金 US\$120) バンコク観光: 王宮, ワットプラケオ (エメラルド仏), チャイナタウン, パラ園 (トウヨウミツバチ養蜂を見学), 水上マーケット, ナコンパトムなど。3日目: アユタヤのバンパイン宮殿 (夏の離宮) 見学, チャオプラヤ川をクルーズしてバンコクへ戻る。4日目チェンマイへ。

⑤ (Southern Package)

プーケット島ーピピ島ーパンガ湾 (2泊3日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US\$ 700, 一人部屋追加料金 US\$ 100) 昼食後プーケット市内, ワット・シャロン, 海洋民族村, プロンテップ岬。2日目, ピピ島日帰り。3日目, パンガ湾観光 (007映画に登場), カオピンカン島, タップ島など, プーケットに戻りバンコクへ。

⑥ (Eastern Package)

バンコクーパタヤーバンコク (1泊2日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US\$ 360, 一人部屋追加料金 US\$ 50) パタヤではノンヌート・ガーデンでゾウ見物。2日目はボートで珊瑚礁にでて海を楽しむ。夕方バンコクへ。

⑦ (Bee World Expo. 2000 China Package no.1)

チェンマイーチェンライーチェンマイ (10泊11日, 2000年3月16~26日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US\$ 900)

初日チェンマイへ。2日目チェンライへ, メーカチェン泉, ヤオ族, アカ族集落訪問, 国境の町メーサイ, 黄金の三角地帯 (タイ, ラオス, ミャンマー国境) 見学後, チェンマイに戻る。3日目チェンマイ観光: プラタードイステープ

寺院, ボーサーン, サンカムフェンでタイ工芸見学。4日目~会議参加。

⑧ (Bee World Expo. 2000 China Package no.2)

チェンマイーバンコクーチェンマイ (10泊11日, 2000年3月16~26日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US\$ 1,100) 初日チェンマイ経由バンコクへ。2日目バンコク観光: 王宮, ワットプラケオ (エメラルド仏), ワットボラニウエート (金色の仏塔チェディの寺), チャイナタウンなど。パタヤ泊。3日目パタヤ観光: ノンヌーガーデン, ワニ園, ティファニーのショウなど見学後バンコク経由チェンマイへ。4日目~会議参加

⑧ (Bee World Expo. 2000 Outbound Package no. 3)

チェンマイー昆明 (4泊5日, 2000年3月26~30日, ホテル, 交通費, 食事込み, 2人部屋利用一人料金 US\$ 700)

初日, 中国雲南省, 昆明へ。2日目~昆明近郊観光と蜂場見学

なお, アジア養蜂研究協会とは別に, 恒例の日本からの大会参加旅行を企画する。多様なタイのミツバチを観察できる内容になるので多数ご参加下さい。詳細は次号ミツバチ科学 20巻4号で紹介予定。

大会関連問い合わせ先:

*Scientific program*; Seventh IBRA Conference on Tropical Bees, International Bee Research Association, 18 North Road, Cardiff CF1 3Dy, UK  
Fax: +44-1222-665522 e-mail: [ibra@cardiff.ac.uk](mailto:ibra@cardiff.ac.uk)

Registration, accommodation; Local organizing committee, Seventh IBRA Conference on Tropical Bees, Prof. Siritwat Wongsiri, Head of Department, Dept. of Biology, Chulalongkorn University, Bangkok, 10330, Thailand Fax: (662) 218-5267 E-mail: [siritwat@chula.ac.th](mailto:siritwat@chula.ac.th)  
<http://deathstar.phys.sci.chula.ac.th/~ziper/bee/Index.html>